



# 北見ロータリークラブ週報

●創立/1937年9月19日 ●事務所/北二条ビル 3階 302号 ☎25-2824 ●例会日/毎週水曜日 ●例会場所/ホテル黒部

HPアドレス <http://www.kitamirc.jp>

第 3424 回例会・2023 年 8 月 2 日

## 本日のプログラム

チャレンジトーク「夏の思い出」

2023～2024年度国際ロータリーテーマ



世界に希望を生み出そう

R.I. 会長 ゴードンR・マツキナリー

## 第 3423 回例会（7 月 26 日）の記録

ロータリーソング 四つのテスト

会長挨拶 田巻会長

暑い日が続いております。7月23日(日)に国際ロータリー2500地区開催の米山奨学会セミナー、そして財団セミナーが紋別の地で行われました。当クラブからは私と小林幹事、地区の方でも向出しております米山記念奨学会の運営委員である帰山会員、財団委員会の向井委員長、そして北見ローターアクトの加納会長とで参加して来ました。午前中は米山記念奨学会セミナーが開催され、2014年と2016年に米山記念奨学会理事を務められておりました渡辺喜代美様による米山記念奨学会事業についての説明がありました。その後はモンゴル出身の去年の奨学生による体験談等をお話しされております。そして午後からは財団セミナーが開催され、宇都宮90RCの飯村慎一様による基調講演がございました。それ以外にも地区に関する補助金、グローバル補助金等3時間のセミナーを受けて来ております。私達ロータリアンが財団に寄付する事で、健康の改善や質の高い教育、そして環境保全、貧困救済、そういったものを救済する事になり将来的には世界平和に繋がる、そういった話を財団で学んで来ました。さて日曜日と言えば大きな話題の一つございまして、ロコ・ソラーレの藤澤五月さんが話題に上がって来ました。可愛らしいイメージからムキムキなイメージでちょっとびっくりした感じになりましたけれども、たまたまその後藤澤五月さんにお会いする機会がありまして少しお話しをさせて貰いました。今年は私もチャレンジというキーワードで動いているものですから、藤澤五月さんに「どうしてロコ・ソラーレで十分なものを得ているにも関わらず、何でもかような風にチャレンジするのですか？」という事を聞いたら、「結局チャレンジする事が好きなんです」と言っておりました。もう既に日曜日から何日間か経っていますので少し体重も戻りつつあるような事もお話しされていましたが、凄く華やかな方ではありませんけれども、芯の強い部分と男性っぽいストイックさといったものを沢山秘めている方で、すごく魅力的な方だなと思っておりました。そういう彼女のチャレンジを見習いながら私も何か今年もチャレンジしていこうかなと思っております。話は変わりますが、本日は北見青年会議所の近江陵太郎理事長がお見えでございます。ぼんちまつりも終わり次はハーフマラソン大会があるという事で、大きなイベントだらけでJCはいつも大変だなと思っておりますが、まだまだ元気良く町づくりを仲間と共に行動して活躍されていると常日頃思っております。そして、いつも青年会議所の理事長をお迎えして卓話をお願いしているところがございます。今年はこの近江理事長の熱い思いを語って頂きながら、私達も少しでも町づくりに対する事を知っていききたいと思います。

幹事報告 小林幹事

- 7月19日(木)に締め切りました地区大会の件について、米山奨学生のベルレさんを含めて18名のご登録を頂きました。ありがとうございます。今週と来週にかけて登録料13,000円を回収させて頂きますので、藤田さんまでお願い致します。
- 7月23日(日)に紋別の地で行われた米山奨学会セミナーとロータリー財団セミナーが行われました。参加された帰山会員、向井会員、ローターアクト加納会長、お疲れ様でした。

委員会報告

岡村ライラセミナー実行委員長

先週今週と各実行委員会の中の各部会を開かれる形になっているかと思っております。今後についてですが、来週以降に正副部会長会議を毎週例会終了後に行い、現在の進捗状況を確認した上で問題点が無いかどうかをすり合わせていくような時間を設けていきたいと思っております。宜しくお願い致します。

田尾ライラセミナー実行委員会総務部会長

先週アナウンスをさせて頂きました通り、例会終了後に総務部会はどんな段取りでやるのかの説明をさせて頂きます。ご都合のつく方だけで結構です。宜しくお願い致します。



## プログラム

会員卓話「成長を生み出す青年会議所の仕組みについて」

(公社)北見青年会議所 理事長 近江 陵太郎 様



皆様は青年会議所という団体についてどのような印象をお持ちでしょうか？勿論、今こちらにいらっしゃる方々の中に先輩もいらっしゃる中で実際に経験された方とそうでない方で印象が変わるかもしれません。「地域のために頑張っている団体。まちづくりに貢献している団体。ぼんちまつりや北見ハーフマラソンやってるよね！ボランティア活動やってるよね！」ネガティブな印象も当然あるでしょう。「飲み会ばかりやってる。金遣いが荒いのでは？忙しくて家族や仕事を犠牲しなきゃならない」新入会員の勧誘に行くところと断り文句がよく言われるのがこの辺です。そして完全に否定出来ないところが中々辛いです。それがやはり私は青年会議所に入ってよかったと思っています。青年会議所は何のために存在するのでしょうか？お祭りやマラソン大会のようなイベントの担い手として存在しているのでしょうか？ボランティア活動をする団体として存在しているのでしょうか？これは間違いではないですけども正しくもないです。青年会議所には使命があります。「青年会議所は、青年が社会により良い変化をもたらすためにリーダーシップの開発と成長の機会を提供する」青年会議所は私たちのような所属するメンバーにとって「成長の機会を提供する」ために存在しているのです。青年会議所に入会して活動をする事と成長する事が出来るのです。

では、青年会議所の何がそんなに人を成長させるのだろうかという話をこれからさせて頂きます。北見青年会議所が日々どのような活動をしているのか、年度によっても異なりますが、大きく分けて3つあります。「街づくり」「人づくり」「組織づくり」です。一つ目が「街づくり」です。これは北見ハーフマラソン大会や北見ぼんちまつりといった地域に根差したイベントを運営しています。二つ目が「人づくり」です。北見に暮らす青少年たちを育成し未来の北見を担う人材へと育成するための運動を行っています。近年では小学生向けのキャンプ事業やスポーツ体験会等を行っています。三つ目が「組織づくり」です。内部の会議の運営をしたり、我々の活動を広報したり、会員拡大を行ったりしています。これらの運動の主体は「委員会」です。例えば今年の北見青年会議所ではぼんちまつりとハーフマラソン大会を担当する委員会は地域開発委員会、青少年向け事業を担当する委員会は青少年育成委員会、組織づくりは総務広報委員会といったように担当委員会が決まっています。多くの団体に比べて青年会議所は理事長をトップとするピラミッド型の組織図となっています。理事長の下に副理事長が数名いて、副理事長の下に委員長がいて、委員長の下に副委員長と委員がいるといった形です。

さて、人を育てる青年会議所の組織の特徴は大きく二つあります。一つ目、最も有名なものは年齢制限です。入会出来るのは20歳から40歳までで、40歳になったら卒業しなければなりません。そして二つ目が単年度制です。役職が単年度で変わります。私は理事長ですが2023年12月末日を持って任期は終了し新たな理事長にバトンタッチを致します。そして副理事長と委員長といった役職も同様で1年で終わります。40歳になったら卒業していく、1年経ったら組織図をガラッと変えなければならない組織って皆さんどうですか？これを例えば会社に置き換えて考えてみたらどうでしょうか？毎年社長が変わる、部長や課長も毎年変わる、40歳になったら退職しなければならない、そんな会社が上手くいくと思いませんか？そんな会社は仕事のノウハウが蓄積していかないし、折角仕事を覚えてくれたと思ったら退職していく会社なんて普通考えないと思いませんか？でも全国各地にある青年会議所は勿論、北見青年会議所もまた年齢制限と単年度制を順守して70年組織を運営しています。ノウハウが蓄積しない構造になっている組織が70年も続いているという事もまた凄いと思っておりますが、それは青年会議所が長年伝承してきた組織のルールや規約によって可能となっておりますが、年齢制限、単年度制のこの二つの決まりがあるからこそ在籍するメンバーは成長を遂げる事が出来るのです。先程も申しました通り、単年度制と40歳卒業制度によって組織の中にノウハウが蓄積しづらくなっています。勿論年度毎の引き継ぎは行うのですが、何事も経験しなければ分からない事があるので前任者から話を聞いただけではやっぱり完璧とはいきません。経験も無い中で何かをやってみると言われてとりあえずやってみるとどうなるのかという「失敗」する訳です。青年会議所は失敗がとて多い団体です。軽微な失敗もあれば取り返しのつかない失敗もありますし、誰かにご迷惑をお掛けするような失敗もあります。勿論失敗しないように細心の注意を払っているつもりなのですが、どうしても失敗してしまう訳です。失敗してしまうと胸が張り裂けそうになりますが、その経験こそが成長への糧になっているのです。失敗せずに成長した人はいないし、人が成長するためには「失敗」しなければなりません。スティーブ・ジョブズ：失敗は成功へのプロセスだと考える。つまり合理的に失敗しないイベントを実施しただけなら毎年同じ人が同じ役職を引き受けた方がいい訳ですが、青年会議所はあえて失敗を誘発させるような機能を組織に内包して、メンバーの失敗を許容する組織である事が成長への糧となっているという訳です。また、単年度制によって様々な役職を体験出来るという事もまた成長に繋がります。私のような理事長という役職だったり、委員長のようなリーダーシップを発揮させなければならない役職に就きますと、自分の配下の人をいかに動かすかという事を実践しなければなりません。これは結構難易度が高くて、なんせ会社の場合は給料が発生する訳ですし、自身の成績が給料に反映する訳ですから、つまり部下側からするとやる事を聞かない事が自分の生活に直結する訳で、ある意味言う事を聞かせ易いと言えます。青年会議所の場合は当然給料が発生しない訳ですから上下関係を結び付けるものが無い訳です。そんな中で自分の時間を割いても協力して貰わないと事業の実施は出来ない訳ですから、あの手この手を使ってメンバーを動かすための手段を取ります。上手くいく時もあれば上手くいかない時もある、そういった経験で学んだ事が自分の会社に戻った時の人を動かす力＝組織マネジメントに繋がる訳です。因みに組織マネジメントのやり方に正解は無いと思いますが、私が青年会議所の経験から学んだ組織マネジメントのポイントについて最後にお話し出来ればと思います。「役割を明確にする事」「ルールと成果を分ける事」「組織図の階層を飛ばした指示を出さない事」。結論としましては、青年会議所は確かに時間も使うしお金も掛かる、但し成長という見返りもある組織であるという事を皆様にお伝えさせて頂きました。

会員の輪

北見の夏の過ごし方は多様です。早朝ゴルフから他のゴルフ場で2ラウンド目に突入する！とか、仁頃山登山へ行ったりパークゴルフをしたり出来ます。その後の温泉と締めビールは最高で一日中遊べます。上湯ではホテル鑑賞も出来ます。カーリングも手軽に出来るし、夏の高校野球観戦も！！全て市内から15分程度の範囲で行けるのが魅力！休日をダラダラと過ごしたい気持ちもありますが、つつい遊び過ぎてしまうのが北見生活での悩みです(笑) (北本 満)

出席報告 柏尾出席委員長

出席報告	例会日	会員総数	出席免除	総出席計算数	例会出席免除者	事前メイクアップ	事後メイクアップ	確定計算出席数	出席率
計 算 式		A	B	C	D	E	F	C+E+F	$\frac{C+E+F}{A-B+D} \times 100$
本日	7/26	60	4	43	1	0	-	43	75.439%



## 【次回8月9日】「職場移動例会に向けて」

桑原 賢史朗 職業奉仕委員長

2023～2024年度 北見R.C.活動方針

輝かしいクラブに、楽しい変化を～「チャレンジ」からのつながり～

クラブ総会とは

標準RC定款による次年度のクラブ役員、理事等を選挙する為の年次総会は、クラブ細則の定めるところに従い毎年12月31日までに開催しなければなりません。会員総数の3分の1をもつて定数とします。

2023～2024年度 北見RC

●会長/田巻 順子

●幹事/小林 和真

●週報編集/岸本 りさ